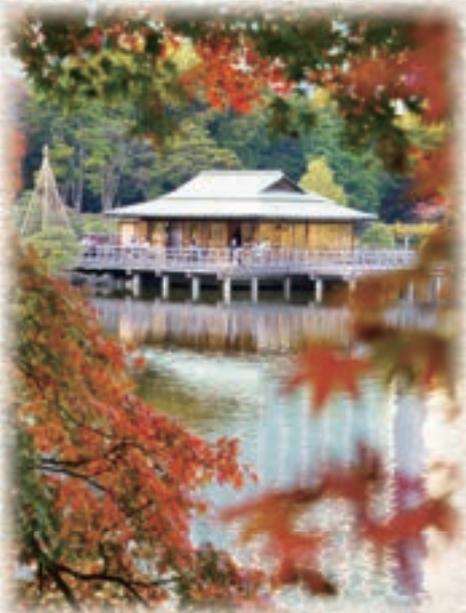


創立40周年記念誌

40年のあゆみ



公益社団法人 中央区シルバー人材センター

創立40周年記念誌

40年のあゆみ

中央区シルバー人材センターの歌
「みんなのために」

作詞・作曲 梶塚 潤

強い樹を育てよう
いつまでも続けよう
優しくなれば 強くなれる
美しい笑顔は みんなのために

人それぞれに 想いはつる
気持ちや身体 違うよ（う）に
未来を見つめて 知恵を伝える
中央区シルバー 人材センター

強い樹を育てよう
いつまでも続けよう
優しくなれば 強くなれる
美しい笑顔は みんなのために

仲間と共に 絆を創る
心を満たし 気付くよ（う）に
豊かな技で 明日を創る
中央区シルバー 人材センター

強い樹を育てよう
いつまでも続けよう
優しくなれば 強くなれる
美しい笑顔は みんなのために

公益社団法人 中央区シルバー人材センター

創立40周年記念誌

40年のあゆみ

中央区シルバー人材センターの歌 「みんなのために」	1
発刊にあたって	3
設立40周年を祝して	4
設立40周年を祝して	5
設立40周年によせて	6
会員のひとこと	7
会員と地域の未来のために／創立40周年記念 座談会	9
受賞者名簿	13
会員の活躍 (会員の就業の様子)	14
会員の活躍 (独自事業の会員の様子)	17
会員の交流・活動 (サークル活動の様子)	18
会員の交流・活動 (ボランティア活動の様子)	19
センターの1年	20
40年のあゆみ	22
活動の推移	28
中央区の総人口・60歳以上人口／会員数・加入率／会員の性別・平均年齢／会員の年齢層比率／就業会員数・就業率／ 公共・企業等・家庭別受託件数／職群別就業実績／配分金・契約金	
歴代役員	32
組織図	40
役員及び職員	42
あとがき	44

発刊にあたって

公益社団法人 中央区シルバー人材センター
会長 山内 栄一郎



中央区シルバー人材センターは、令和3年2月をもちまして、創立40周年を迎えました。

これもひとえに、中央区及び東京しごと財団など関係機関のご支援・ご指導、そして当センターにご発注いただきました企業や区民の皆さまのご理解・ご協力の賜物と厚く御礼を申し上げます。また、センターの礎を築き、発展に尽くされました会員、役職員の長年のご労苦に心から感謝申し上げます。

この間、平成23年4月には、公益社団法人に移行し、「自主・自立」、「共働・共助」の理念に基づき、地域社会に貢献する団体として活動を続けており、今や賛助会員を含めた会員数はおよそ700人、新型コロナウイルスの感染拡大前には、契約金額も2億5千万円を超える規模にまで発展してまいりました。

コロナ禍においては、会員数の伸び悩みや契約金額が減少するなど、厳しい状況が続いておりましたが、今後、社会経済活動が一段と加速する中で、センターにおいても、会員の拡大と就業先の開拓に向け、取組を強化していく必要があります。

また、定年制の延長や働き方改革が促進されるなど、センターを取り巻く環境は大きく変化しております。こうした状況にも柔軟に対応し、高年齢者の生活と社会参加による生きがいの充実を図るとともに、地域社会の福祉と活性化に寄与することを目的として、今後とも事業を展開してまいりたいと存じます。

結びにあたり、中央区シルバー人材センターがこの40年を契機としてますます発展を続け、50周年へと力強く歩んでいくことができますよう、関係者皆さまの深いご理解と温かいご支援を切にお願い申し上げます。

創立40周年を祝して

公益社団法人 中央区シルバー人材センター 名誉会長
中央区長 山本 泰人



このたび、公益社団法人中央区シルバー人材センターが、創立40周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴センターは昭和56年に「中央区高齢者事業団」として発足して以来、地域における高齢者の皆さまの就労や社会参加、生きがいづくりの促進に取り組んでこられました。これもひとえに、「自主・自立」「共働・共助」の基本理念のもと活動されてきた、歴代会長、役員の方をはじめ、会員の皆さま方のご尽力のたまものと存じ、深く敬意を表する次第であります。

さて、令和3年4月に施行された「改正高年齢者雇用安定法」によりますと、これまでの65歳までの雇用確保義務に加えて、70歳までの就業機会の確保が努力義務とされました。少子高齢化が急速に進行し人口が減少する中、経済社会の活力を維持するため、年齢にかかわらず働く意欲のある誰もがその能力を十分に発揮できるよう環境整備が図られたものであります。こうした中、高齢者の就業機会の拡大や就業支援を積極的に進めておられる貴センターの役割は、今後ますます高まっていくものと存じます。これまでのご貢献に深く感謝いたしますとともに、今後もさらなるご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

本区におきましても、「人生100年時代」を迎えつつある中、健康で働く意欲のある高齢者の皆さまが自立し安心して生活できる「生涯現役社会」を実現するとともに、すべての人々が幸せを実感し誇りを持てる都心「中央区」を目指し、区のさらなる発展に向けて全力で取り組んでまいりたいと存じます。

結びに、この40年を一つの節目として、シルバー人材センターのますますのご発展と、会員皆さま方のご健勝・ご多幸・ご活躍を心から祈念申し上げまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

創立40周年を祝して

中央区議会議員 木村 克一



公益社団法人中央区シルバー人材センターが、設立40周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。

中央区議会を代表いたしまして心からお祝い申し上げます。

シルバー人材センターにおかれましては、昭和56年2月に設立され、以来、今日までの永きにわたり、高齢者の生きがい、就労機会の確保と提供への献身的なご努力に、区議会を代表して心から感謝と深い敬意を表する次第であります。

また、昨年来のコロナウイルス感染症拡大の影響を受けた、貴センターの事業運営につきまして、山内会長をはじめ、関係者の皆様のご労苦、ご尽力は並大抵でないものがあつたことと拝察いたします。

我が国は、高齢化に一層の拍車がかかっており、社会保障費の増大などが社会問題となる中、高齢者が意欲と能力がある限り、年齢にかかわらず元気で働き続けることができる社会の実現が喫緊の課題となっております。

これから貴センターの果たす役割は、ますます重要となってまいります。地域社会の重要な担い手である、高齢者の「社会参加や生きがいの拠点」として、さらにご尽力賜りますようお願い申し上げます。

区議会といたしましても、皆様方と力を合わせ、健康で生きがいを持てる、心豊かな長寿社会の実現に向け、今後とも各種施策の充実に努めてまいります所存であります。

結びにあたり、中央区シルバー人材センターのますますのご発展と、ご関係の皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、お祝いのご挨拶といたします。

設立40周年によせて

公益財団法人東京しごと財団
理事長 小沼 博靖



公益社団法人中央区シルバー人材センター設立40周年を心よりお祝い申し上げます。
このたび40年の節目を迎え、シルバー人材センター事業に携わる役職員の皆様、会員の皆様には感慨もひとしおのことと存じます。

シルバー人材センター事業は、昭和49年に東京都で発足し、現在では都全体で約8万人の会員を擁する大きな事業に発展して参りました。

その中で、貴センターは、昭和56年の設立以来、会員数を着実に伸ばし、令和2年度末には約660人まで拡大し、また、年間契約金額は2億2千万円を超えるなど着実に実績を重ねられております。

また、お客様満足度調査と会員意識調査を実施し、現状を分析して改善につなげる姿勢は、他のセンターの手本となるものと感嘆しております。

さらに、貴センターでは、街のボランティア清掃を実施するなど地域に密接した事業に取り組み、地域社会に貢献されております。

私達、東京都シルバー人材センター連合といたしましても、引き続き皆様と一体となり、事業の拡充・発展に努めて参りたいと思います。

結びに、会員の皆様はじめ関係各位の益々のご健勝と、貴センターの一層の発展を心より祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



会員のひとこと

📅 年月を振り返って

会員番号：1143

坂井 よね子



創立40周年おめでとうございます。

私がセンターの会員になったのは、平成18年でした。それから15年が過ぎました。

会員になって1か月余りは封入のお仕事、会社へ出かけ梱包等のお仕事をしました。その間、職員さんに図書装備の仕事を勧めていただきましたが、不器用な私はためらっていました。熱心に勧めていただき見学に行くと、たまたま先輩が1人で山積みの本にカバーをしているのを見て、始めてみました。

2年後の平成20年に「シルバーのあゆみ」に私のコメントがあり、不器用で腕が痛く困っていた様子が載っていました。慣れないので力が入り過ぎたようでした。7年が経過して終了し、他の仕事をして、縁あってまた図書装備をやることになり、5年が過ぎました。

振り返ってみて、心身共に充実した年月でした。

センターの皆様には感謝の一言です。ありがとうございました。

📅 10年過ぎて

会員番号：1532

鷺塚 みよ子



私がシルバー人材センターのことを知ったのは、もう10年も前になるでしょうか。友人から「登録しに行こう」と誘われ八丁堀に来たのが最初です。

すぐにパソコンの補助員として働き、その後封入作業に従事しました。この間、ベテランの方からやりかたの注意事項を教わり、新人の方からは仕事以外の携帯電話の使い方を教えてもらったり、作業の合間もとても有意義な時間でした。

今、築地の児童館にいますが、子どもたちが私に向かって「先生」というのに最初は「えっ、私のこと？」と随分戸惑いましたが、約1年経ちようやく慣れてきました。すべてのことをプラスに考え、自分の健康のため、家から歩いて25分。また、保育の先生や子どもたちからは、頭に刺激をもらっているようです。

シルバー人材センターから与えられた仕事はしっかりとこなし、「登録しよう」と誘ってくれた友人には、今感謝の気持ちでいっぱいです。シルバー人材センター40周年おめでとうございます！

会員のひとこと



今思うこと

会員番号：1768

内山 正美



「かざぐるま明石町」で就業しております。

就業した時から今も感じていることですが、明石に就業している会員の方々の若々しく輝いている姿に感動しています。

仕事は大変ですが、そこから受ける刺激と共に、社会に貢献している実感が得られることで楽しく生きがいのある就業をしていることが、この姿につながっていると思います。

また、明石町では、コロナの影響で、何度も臨時休館やそれに伴う特別対応等の激変を受けましたが、会員の皆さんの積極的な対応で確実に乗り切ることができました。

就業者全員が、やりがいのある就業の機会を得られたことに、そしてセンターに感謝しております。

センター設立40周年を迎えられますが、設立から今まで運営に携わってこられた方々の大変なご苦労があつてのことと思います。今もシルバーどころかゴールドの輝きで素晴らしい活動をされているセンターの、今後も継続したゴールドの活躍を会員一同期待しております。

普通に生きる

会員番号：1860

青木 信次



もうだいぶ前のこと。娘が高校生の頃だと思うのだが、夕飯の時に何かの会話の中で「お父さんって普通よね！」と言われ、何かバカにされたようで慄然としたことを覚えている。その時から20年以上の歳月が流れ、その間に社会では東日本大震災、コロナウイルス禍、個人的には身内や友人の不幸や祝い事を経験してきた。そういった出来事を一つ一つ経験する度に「普通に生きる」ことの難しさや大切さを感じてきたし、普通に生きることの素晴らしさも判ってきたと思う。

そして、私が今普通に生きることを支えてくれている一つが「中央区シルバー人材センター」の存在である。63歳で仕事を辞め精神的に路頭に迷いそうだった私は、区の掲示板でふと見つけたシルバー人材センターのポスターに導かれるように入会し就業専門員として仲間や職員の皆さんに支えられて5年、そして設立40周年を迎えた今はパソコン教室のサブ講師として就業している。今はこれが私の普通である。

創立40周年記念 座談会

～会員と地域の未来のために～

■出席者／()は会員番号／敬称略

高木 健二 (1975)

後上 綾子 (2062)

木下喜美恵 (2120)

宮城 弼男 (2146)

池田 幸雄 (1058)

高木 暁子 (1152)

棚田 正人 (1666)

落 政俊 (1970)

熊代 清隆 (2151)

関根 邦雄 (2292)

萬光 範一 (1005 理事〈副会長〉)

遠藤 龍雄 (司会進行 事務局長〈常務理事〉)

萬光副会長：皆さま、こんにちは。萬光でございます。このたび、中央区シルバー人材センターは40周年を迎えることができました。これもひとえに会員の皆さま方のご努力によるものであります。また、センターの運営に対しましても、ご理解とご協力を頂戴いたしました結果だろうと思ひ、この場をお借りして御礼を申し上げる次第でございます。

本日は、会員の皆さまが就業を通して得られたことや、今後に向けてのご意見を教えていただき、50周年、60周年に向けての礎にしたいと考えております。



理事(副会長) 萬光 範一

1 就業を通して得られたこと

人と触れ合うのはとても新鮮な体験

熊代：「リサイクルハウスかざぐるま 明石町」で就業をしています熊代でございます。現役を終わって、あまり時間を空けずはこちらにお世話になっているので、感覚的には現役と同じような感覚で仕事をさせていただけたのはありがたいです。



「かざぐるま明石町」
管理運営業務

熊代 清隆

大勢のスタッフと一緒に働いていますので、人と触れ合うのがとても新鮮です。そして、頭と手先と体を使っている。パソコンをはじめ、お預かりの品物に付けたたくさんのタグの枚数を数えたり、金額の集計もしなければいけません。通常の移動は階段を使うようにもしています。幸いにも心身共に鍛えられる就業をさせていただいて、ありがたく思っております。

笑顔でお母さんや子どもさんをサポート

木下：最初からしている仕事は筆耕です。去年の7月からは子育てサポーターの業務に就かせていただいでい

ます。筆耕は、個人で自宅に持ち帰ってする仕事、子育てサポーターは「あかちゃん天国」という場所で常時2名の保育士さんが子どもさんのお世話をなさっており、私たちシルバーの会員も、お母さんや子どもさんのお手伝いを楽しくさせていただいています。



あかちゃん天国事業
子育て見守りサポーター

木下 喜美恵

仲間がいて、会話をすることはいい

池田：私はあかつき公園冒険広場で管理業務をしています。私はシルバーに入って、17、18年になるのですが、会社を定年になって「これからどうしようかな」と思っていたら、近所の人「シルバー人材センターっていうのがあるんだよ」と紹介してくれました。



「あかつき公園冒険広場」
管理業務

池田 幸雄

入会して、自転車整理業務もしていましたので、仲間がいますと結構おしゃべりするんですよ。それはとてもいいことと思います。



皆さんに満足いただけるような講習を

高木 暁子：パソコンの講習業務をしております高木と申します。もう長くパソコン業務をしておりますが、その中で難しいと思う点は、レベルの違う人、上手な人、苦手な人という場合に、どちらに重点を置くかです。悩みながら、皆さんに満足いただけるような講習をと思って行っております。



パソコン教室講師
(独自事業)

高木 暁子

作業を教えていただくことは勿論ですが、その方のしてきたこと、お勤めしてきたお仕事の内容や家庭のことなど、私も自分の仕事や生活について色々お話しできることがありました。私はひとつの会社に長く勤め、他のことをあまり知らなくて、色々なことを教えていただいたことが楽しかったし、うれしかったです。「こういうことをやってらっしゃる方もいるんだ」と思って。そのような出会いは、会員になって得た楽しさでしょうか。



封入封緘作業・施設受付

後上 綾子

シルバーに入って元気になった

落：十思スクエア別館で管理業務をしております落と申します。シルバーに入って、色々な人と付き合えるようになりました。だから人形町辺りを歩いていても、声をかけられることが多く、そのような面はよいなと思っています。家内が亡くなり、落ち込んでいましたので、「シルバーに入って、元気になった」と周りの人からも言われるようになりました。人と会話をすると、これが一番いいことじゃないでしょうか。



「十思スクエア別館」
受付管理

落 政俊

協力して仕事を遂行

棚田：晴海にある、ふれあい作業所の指導員をしております。利用者が30人くらいいて、色々な人がいます。主にタオルを畳んで熨斗をかけて袋に入れたり、箱を作りその中にタオルを入れてデパート包装したり、模型飛行機を組み立てたり、デパートで売っているお菓子の箱を作ったり、色々な仕事があります。これを期限内に終わらせることに苦勞しますが、みんなで協力して乗り切っています。



ふれあい作業所
管理・作業指導

棚田 正人

新しい出会いの機会

後上：封入封緘作業をさせていただくことがあります。何人かで作業をしますが、ご一緒する方がその都度変わります。

まちを知るきっかけにも

関根：日本橋で自転車整理業務をしています。私は大勢の人がいる仕事ではなく、ずっと板前をやっている、体を壊して、リハビリして歩きまわってい



る時に、シルバー人材センターで自転車整理業務を紹介されました。今は一日一万歩を軽く突破するくらい歩いています。

毎朝、太陽に当たりながら自転車で行って、人形町をきれいに掃除します。人形町の商店街の人からも結構ありがたいと思われる感じですが、今まで一切知らなかったのですが、道を聞かれたりするので色々な場所を覚えたりもしています。身体的にも、また地域を知ることできて、とてもよい思いで仕事をしています。



区立駐輪場管理
整理業務（日本橋）

関根 邦雄

小さな会社のような仕事が面白い

高木健二：「リサイクルハウス かざぐるま 箱崎町」の高木と申します。かざぐるまは小さな会社を経営しているようなものだと思います。お客さんとの接触があり、お金も扱い、色々なことのために頭を使わなければいけません。高齢者になって、面白い仕事だなという気持ちを持っています。



「かざぐるま箱崎町」等
管理運営業務

高木 健二

地域の人たちとのふれあい

宮城：リサイクル回収受付業務を行っております。私は京橋地区を担当して、4年が過ぎました。就業場所は秋になると落ち葉も多く、枯葉をきれいにすると、中には見ていてくださる方がいて、「大変ね」と言ってくれる方もいます。



リサイクル回収受付業務
（京橋）

宮城 弼男



萬光副会長：皆さま、お話しをありがとうございました。それぞれが素晴らしい経験をお話してくださいました。さて、今センターは、50周年に向けて歩み出しているのですが、センターに期待することやご意見がございましたら、お話しただけですか。

2 今後の期待～センターの課題と未来の姿

就業に関する情報共有の推進を

関根：私に関わっている自転車整理は、日本橋と月島と京橋の3か所にあります。私は日本橋にいます

が、「京橋の人はどうやってるのかな、月島の人はどうやってるのかな」などと他の取り組みを知りたいです。自転車整理業務の3か所で情報交換ができるとよいと思います。

会員の配置を適材適所に

棚田：我々の仕事は、15くらいの業者から直接仕事の依頼がきます。適材の人、慣れている人がいると、期限内にスムーズに終わります。人材の適材適所の配置をすすめることも、皆で考えていけたらいいと思います。

広く会員の意見を聞いて事業の展開を

宮城：会員の横のつながりが、一番必要ではないかと思っています。また、目安箱のような物を交流広場の時に置いておけば、皆さんからも意見や要望や案などが出てくるかもしれません。

就業グループ会員の交流継続を

木下：交流広場がある時に就業グループのみんなが集まり、1時間くらい色々お話するのですが、先輩が多くて、様々なお話を聞かせていただけるので楽しいです。これからも続けてほしいです。センターの職員の皆さんの対応がどの方も優しく、わからないことを丁寧に教えてくださり、とてもうれしいです。

年齢の高い会員も活躍できる場が必要

池田：年1回位は会員の交流をして、横のつながりができるとよいと思います。また、皆さん、よく言っているんですが、「元気があるうちは働きたい」という人が結構いるんです。年齢がいても働きたいという人をシルバー人材センターとしてはどうするのかは、今後の課題と思っています。

事務局と会員の連携を円滑に

後上：シルバー人材センターの事務所の方たちから仕事の依頼を会員に説明する時の説明内容の統一、顧客から急なキャンセルがあった時の連絡方法や内容

等について、事務局と会員のコミュニケーションがもっとスムーズになると、会員も仕事をしやすいと思います。

未就業者への対応は大きな課題

高木暁子：皆さんに、「シルバー人材センターに関して、何かありませんか？」と聞いてみたんですけど、仕事をしている方は感謝している方が多いです。交流広場にみえる方はお仕事している方で、就業報告書を持ってみえるから「不満はない」と言うんですね。不満をもっていらっしゃる方は、お仕事をあまりしてない方だと思います。そういう方たちにどのように仕事をしていただくかを考えていくべきだと思います。

高齢社会だからこそセンターの出番

高木健二：特に「こうしてほしい」ということはないのですが、これからは高齢者の方がさらに増えてくるということで、シルバー人材センターの出番かなと期待しております。

地域の高齢者の活動拠点となるように

熊代：これからですが、会員の皆さんが色々なニーズに対応できるようにすれば、就業の機会も増えると思います。生き生きと仕事ができますし、そのためにセンターで情報交換や学ぶ場所などの支援をさらに充実していただけたらと思います。また、地域の高齢者の活動拠点となるよう、気軽に入出りできる雰囲気があるとよいと思います。

未就業者にも仕事の機会を

落：シルバーに入っても、仕事来ないという会員の皆さんが私の周りに多いので、そうした方たちにも就業の機会をつくる、適材適所で仕事につなぐこともお願いしたいと思います。

萬光副会長：皆さま、前向きにお話しをさせていただきありがとうございます。いま、事務局には、若くて優秀なスタッフがおり、私はありがたいことだと思っています。なおいっそう会員の皆さまと事務局との間でコミュニケーションをとり、もっとよいセンターにしていければと思っています。会員の皆さまに働きがいや生きがいを感じていただくことがシルバーの大きな仕事だろうと思いますので、今後ともよろしくお願い申し上げたいと思います。ありがとうございました。



(司会進行)
常務理事兼事務局長
遠藤 龍雄

受賞者名簿 (順不同・敬称略)

● 発注者

公益財団法人 中央区勤労者サービス公社
 千代田電気株式会社
 人形町商店街協同組合
 株式会社東急コミュニティー
 株式会社メイプルリビングサービス
 細金 昭治
 近藤 朋子
 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会
 株式会社ザ・ギンザビル社

山内 百代
 株式会社エルビーエス・サービス
 第一管財株式会社
 共同ピーアール株式会社
 鯉淵 登志子
 株式会社日本コミュニティー
 アクティオ株式会社
 株式会社朝汐

● 役員表彰者

神戸 京子

● 会員20年表彰者

神戸 京子	荻 敏明	小林美貴子	野原 尊巳	米山 和子
八巻 徹	武井 節子	本高 進一	星 典子	

● 会員10年表彰者

富澤 政男	小川 洋子	大沼 津	須貝 良民	竹内 幸雄
石川 安子	須藤 守	多田八重子	吉川 信子	野口 慶子
諸田 茂子	小窪 一寿	斎藤 弘子	永島 正博	渡辺 清
沖 桂子	斉藤 茂子	有川 諄子	芳村 義朗	金子 朝源
辻 富士子	松本 進	金子 逸郎	渡辺 和義	小島 基次
久我三和子	千葉 修	安達 正治	吉松登久子	富岡 せつ
中島 文彦	江口 繁	新井 雅夫	青木 清子	小田切勝昭
古川 紀一	小山 定芳	秋山 すみ	小倉 節子	米谷 有子
江尻 忠雄	小野寺幸男	大多和幸子	竹之内義孝	橋場 恵子
田内 澄子	永幡 圭助	直江 延子	山崎 京子	高木 堅治
玉木 道代	杉山 英武	草間 菊二	岩田 清	田中 房子
橋谷 正雪	小野寺淑子	中嶋 郁子	下田 眞市	葭葉 利男
長谷 武和	落合 郁夫	福田 耕作	伊藤 修朗	岩谷 栄子
朝倉 昇	田中 良和	石澤 晃	佐藤サチ子	千葉 久子

● 財団表彰者

芳村 義朗

会員の活躍 (会員の就業の様子)

「あかつき公園冒険広場」管理業務



じゃぶじゃぶ池管理業務



ハイテクセンター等複合施設運營業務



ふれあい作業所管理・作業指導



ポスター掲示・撤去・送付委託



「かざぐるま箱崎町」等管理運營業務



「かざぐるま明石町」管理運営業務



リサイクル回収受付等業務



区立駐輪場管理整理業務



児童通学安全指導業務



「十思スクエア別館」受付管理



中央区立図書館等図書装備委託



銭湯受付



封入・封緘作業



築地魚河岸 イベント受付



築地魚河岸 来場者数計数



派遣(事務作業)



会員の活躍 (独自事業の会員の様子)

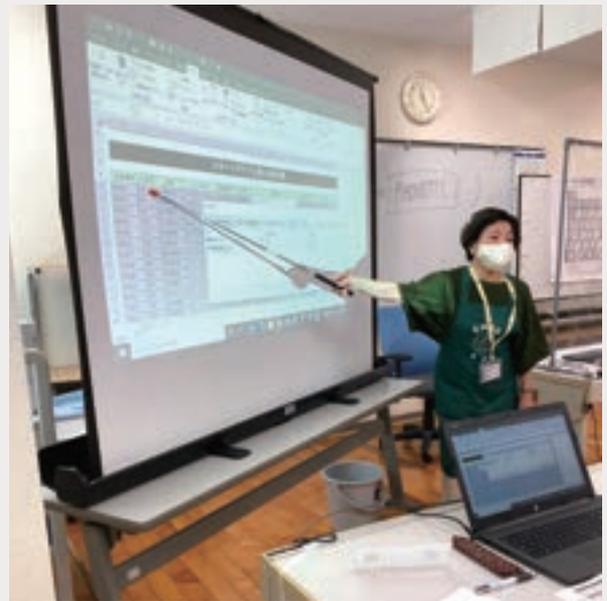
毛筆教室



包丁研ぎ



パソコン教室



写経教室



会員の交流・活動 (サークル活動の様子)

パソコンサークル



カラオケサークル



華道サークル



書道サークル



会員の交流・活動 (ボランティア活動の様子)

清掃活動①



東京マラソン①



清掃活動②



東京マラソン②



清掃活動③



東京マラソン③



センターの1年



リーダー・サブリーダー会議



安全管理員の視察



健康福祉まつり



交流広場





自転車事故防止
講習会



新規就業者
説明会



定時会員総会



理事会



40年のあゆみ

	年月日	主な出来ごと	国内の動き
創設期	昭和49年度 1974 12月18日	●「東京都高齢者事業団」が発足 (初代会長 大河内一男 東京大学名誉教授)	●足尾鉍毒補償問題80年ぶり解決
	昭和50年度 1975 2月24日	●初の地区事業団として「江戸川区高齢者事業団」発足	●三億円事件の時効成立
開設準備期	昭和54年度 1979 12月	●中央区より東京都に対して事業団の設立を要請	●ソニー「ウォークマン」を発売 ●国公立大で初共通一次試験実施
	昭和55年度 1980 4月	●高齢者事業団が、高齢者労働能力活用事業（シルバー人材センター）として、国の補助事業となる ●中央区厚生部老人福祉課に設立準備担当組織を設置 ●「設立基本計画」決定。各種団体への説明、チラシ配布等実施	●銀座の路上に風呂敷包みの1億円 ●山口百恵日本武道館で引退公演 ●ルービックキューブ流行 ●中国残留孤児が初の正式来日 ●神戸ポートアイランド博覧会開幕
	12月～56年2月	●設立準備会・設立発起人会を開催。事務局の開設準備	
	2月18日	●「シルバー人材センター中央区高齢者事業団」の設立総会を開催（於：中央会館）初代会長に 廉英雄氏 就任 ●事務所 → 築地7-9-17 区立生活館内	
設立後	昭和56年度 1981 4月1日	●理事会に専門部会を設置（総務部会、事業部会、広報部会）	●敦賀原子力発電所で放射能漏れ
	7月30日	●「社団法人シルバー人材センター中央区高齢者事業団」の設立総会を開催（於：中央区役所） ●定款・諸規定制定・役員選任等決議 ※会費600円 ●会長：廉英雄氏 名誉会長：中央区長 横関政一氏 就任	●大相撲で千代の富士が横綱昇進 ●ロッキード事件丸紅ルート公判で榎本三恵子証言（蜂の一刺し） ●東京赤坂のホテル・ニュージャパんで火災
	9月1日	●社団法人設立の都知事認可を得て登記完了	●日航機、羽田空港着陸直前に墜落事故（逆噴射）
	10月31日	●(財)東京都高齢者事業振興財団に対し、東京都及び区市町村が出捐を決定。中央区は500万円を出資	
	12月25日	●機関紙「中央事業団だより」を発刊	
	昭和57年度 1982 7月	●社団法人全国シルバー人材センター協議会（全シ協）発足	●500円硬貨発行
	12月19日	●事務所を移転 → 明石町12-1 区立福祉センター内	●東北新幹線（大宮 ↔ 盛岡間）、上越新幹線（大宮 ↔ 新潟間）開業
	20日	●高齢者就業意向調査実施（以後平成16年度まで継続）	
	昭和59年度 1984 10月9日	●飯田橋職業安定所主催「高年齢者就職促進地域関係機関連絡会」に参加	●衛星放送の本放送開始
	昭和61年度 1986 4月11日	●シルバー人材センター関係法「中高年齢者等の雇用の促進に関する特別措置法の一部を改正する法律」が成立	●男女雇用機会均等法施行 ●英皇太子夫妻来日（ダイアナ・フィーバー）
	6月20日	●(社)全国シルバー人材センター協議会が、「(社)全国シルバー人材センター協会」と改称	●上野動物園のパンダ「ホアンホアン」に赤ちゃん誕生
	10月1日	●上記法律の施行により都知事の指定を受け、法律に基づく公益法人となる	●社会党委員長に土井たか子が選出、初の女性党首誕生
	8日	●設立5周年記念式典・記念講演・祝賀会を開催（於：中央保健所大会議室103名参加）	●伊豆大島三原山大噴火、11月全島民に避難命令
	3月1日	●5周年記念誌「五年のあゆみ」発行	
	昭和62年度 1987 9月2日	●名誉会長：中央区長 矢田美英氏 就任	●国鉄民営化、JR11社発足
	11月19日	●安全管理委員会を設置	●青函トンネル開通、青函連絡線80年の幕閉じる
	昭和63年度 1988 9月12日	●東京都シルバー人材センターの共同広域広報を展開（於：数寄屋橋公園 以後平成19年度まで）	●昭和天皇崩御
平成元年度 1989 10月1日	●総合事務処理システム「エイジレス80」導入	●新元号「平成」となる ●消費税スタート、3%の課税	

年月日		主な出来ごと	国内の動き
平成2年度 1990	7月2日	●名称を、全国統一名称の「社団法人 中央区シルバー人材センター」に変更	<ul style="list-style-type: none"> • TBS記者秋山豊寛が日本人初の宇宙飛行士に • 湾岸危機勃発によりバブル崩壊
	10月20日	●機関紙名称を、第28号から「シルバーのあゆみ」に変更	
	3月18日	●第2代会長：渡辺誠之助氏 就任	
平成3年度 1991	6月5日	●事務所を移転 → 明石町1-6 旧第二中学校校舎内	<ul style="list-style-type: none"> • 長崎県の雲仙・普賢岳で大規模な火砕流が発生、島原市の住民が避難 • 東海道新幹線「のぞみ」が運行開始
	10月30日	●創立10周年記念式典・祝賀懇親会を開催（於：中央会館260名参加）	
	3月30日	●10周年記念誌「十年のあゆみ」発行	
平成4年度 1992	11月7日	●事務所を移転 → 佃1-11-1 区立シニアセンター内	<ul style="list-style-type: none"> • 「エンデバー」で毛利衛が日本人初の宇宙飛行 • 米騒動、記録的な冷夏のため国内米が不作
平成6年度 1994	4月1日	●作業所を開設（晴海1-5-7 ふれあい作業所内）	<ul style="list-style-type: none"> • 阪神・淡路大震災 • 地下鉄サリン事件
平成7年度 1995	10月17日	●放置自転車対策功労団体として、都知事表彰を受賞	<ul style="list-style-type: none"> • 高速増殖炉「もんじゅ」でナトリウム漏れ事故
平成8年度 1996	10月1日	●財団法人東京都高齢者事業振興財団のもとに「東京都シルバー人材センター連合」(57センター) を結成	<ul style="list-style-type: none"> • O157各地で大流行 • 広島原爆ドームが世界遺産に登録
	11月1日	●創立15周年記念式典・祝賀懇親会開催（於：中央会館）	
	3月31日	●配分金が初めて一億円を突破	
平成9年度 1997			<ul style="list-style-type: none"> • 消費税税率を3%から5%に引き上げ
平成10年度 1998	10月1日	●財個人情報保護制度を創設	<ul style="list-style-type: none"> • 火星探査機「のぞみ」が打ち上げに成功 • 和歌山市毒物カレー事件
	1月	●国の補助制度による就業機会開拓専門員導入	
平成11年度 1999	4月1日	●会員年会費600円から1,000円に改定	<ul style="list-style-type: none"> • 東海村のウラン加工施設で国内初の臨界事故
平成12年度 2000	5月25日	●機関紙「シルバーのあゆみ」のサイズをA4版に変更	<ul style="list-style-type: none"> • 三宅島で雄山が17年ぶりに噴火、全島避難が発令 • 新紙幣2000円札発行
	1月29日	●事務所移転 → 八丁堀3-17-9 京華スクエア内	
	3月	●就業機会開拓専門員制度終了に伴い、「就業開拓委員会」を設置	
平成13年度 2001	4月1日	●センターのホームページを開設	<ul style="list-style-type: none"> • 池田小学校殺傷事件 • 狂牛病国内で発生
	7月30日	●高齢者就業支援（会員講師）としてのパソコン教室（定員20名）をハイテクセンター研修室で開始（5日間）	
	10月29日	●創立20周年式典・祝賀懇親会開催（於：日本橋プラザ）	
平成14年度 2002	4月1日	●「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」改正に伴う定款の改正（補助的、短期的な就業の提供 → 臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務の提供に変更）	<ul style="list-style-type: none"> • サッカーW杯日韓共同開催 • 北朝鮮から拉致被害者5人が帰国
	7月1日	●情報公開制度を創設	
平成15年度 2003	6月1日	●「就業に関する基準」（就業の交代制、年齢ガイドライン等を規定）を策定	<ul style="list-style-type: none"> • 個人情報保護法が成立 • 郵政事業庁が日本郵政公社になる
	10月1日	●個人情報保護方針を策定 ●無料職業紹介所「シルバーワーク中央」開設	
平成16年度 2004	4月1日	●第3代会長 平林智司氏 就任 ●(財)東京都高齢者振興財団が、「(財)東京都しごと財団」に改組	<ul style="list-style-type: none"> • 東京都心で観測史上最高の39.5度を記録 • 新潟県中越地震
	12月	●「高齢者の雇用の安定等に関する法律」が改正（定年の廃止又は65歳までの引上げ・継続雇用制度の導入と合わせ、シルバー人材センターは届出により一般労働者派遣事業を実施可）	

	年月日	主な出来ごと	国内の動き
平成18年度 2006	5月30日	●創立25周年記念 会員表彰 第50回定期大会において実施	<ul style="list-style-type: none"> ●京都大学の山中伸弥教授がiPS細胞の作成を発表 ●秋篠宮家に男子（悠仁さま）誕生 ●第1回東京マラソン開催
	2月18日	●「第1回東京大マラソン祭り」の清掃ボランティアに有志が参加	
平成20年度 2008	8月17日	●ケーブルテレビでの中央区広報番組によるセンター事業のPR	<ul style="list-style-type: none"> ●後期高齢者医療制度がスタート ●秋葉原で無差別殺傷事件 ●岩手・宮城内陸地震 ●リーマンショックで株価暴落、バブル後最安値
	10月1日	●無料職業紹介所「シルバーワーク中央」の運営主体を（社福）社会福祉協議会に移管	
	11月17日	●就業専門員2名を配置し、事業所訪問による就業開拓や会員就業のコーディネート機能を強化	
	12月1日	●18年6月制定の公益法人改革三法（略称＝一般法人法、公益認定法、整備法）が施行される	
	2月12日	●「高齢者者合同就職面接会」を中央区・飯田橋公共職業安定所等と共催し、センターのブースでPR活動を行う	
平成21年度 2009	4月1日	●毎月初の2日間、就業報告書の受渡し、会員の交流促進と意見集約を目的とした「会員の交流広場」を開始	<ul style="list-style-type: none"> ●新型インフルエンザ流行 ●「裁判員制度」がスタート ●衆院選で民主党が圧勝、歴史的政権交代
	10月1日	●新公益法人制度への移行に向けて、島根公認会計士への顧問委任契約締結 ●4地域（京橋、日本橋、佃・月島、勝どき・晴海・豊海）における地域班会議の開催開始	
	3月29日	●第57回定期総会において、公益法人制度改革に伴う、公益社団法人への移行申請実施の決議	
平成22年度 2010	4月1日	●第4代会長 小林高光氏 就任 ●業務システムのセキュリティ強化と事務処理効率向上のため、パソコンサーバーを設置しグループウェア化する	<ul style="list-style-type: none"> ●刑事訴訟法の改正により殺人事件の時効が廃止 ●東日本大震災発生 ●福島第一原子力発電所事故が発生 ●東京スカイツリー世界一の高さ634mに到達
	5月28日	●第58回定期総会において、新法人移行に向けての定款変更、会費規程変更及び役員就任予定者を選任 ●仕事別グループ制及びリーダー制の導入	
	7月29日	●公益社団法人移行認定申請書を提出	
	9月	●会員数が500人突破	
	11月18日	●「公益社団法人移行準備委員会」を立ち上げ、ボランティア活動・賛助会員制導入・会員のワークシェアリング等を検討	
	12月1日	●新公益法人移行や法令遵守等への対応のため、檜垣弁護士への顧問委任契約締結	
	3月22日	●都知事から、公益社団法人移行「認定書」が交付される ●役員賠償責任保険に加入	
平成23年度 2011	4月1日	●公益社団法人に移行（公益社団法人への移行登記完了） ●理事会の専門部会を委員会に改組（総務委員会、広報委員会、安全管理委員会） ●ホームページの全面リニューアルによるPR強化と情報開示の拡充 ●賛助会員制度の導入（当初24名）	<ul style="list-style-type: none"> ●小笠原諸島、平泉の歴史的建造物群が世界遺産に登録 ●女子サッカーワールドカップドイツ大会で、日本代表（なでしこジャパン）が初優勝 ●地上アナログテレビ放送が終了し、地上デジタル放送に移行 ●大阪府知事・大阪市長ダブル選挙で、大阪都構想を掲げる「大阪維新の会」が圧勝
	18日	●適正就業検討委員会の設置を決定	
	5月	●会員のボランティア活動開始（区内駅周辺の清掃活動3地域で毎年4回、ひとり暮らし高齢者等の見守り）	
	6月14日	●第1回 定時会員総会を開催 ●会員以外の一般の方の参加も得て、30周年記念式典・アトラクションを開催（690名出席） （於：銀座プロッサムホール） ●「中央区シルバー人材センターの歌」を披露	
			

年月日	主な出来ごと	国内の動き
8月	●東日本大震災の被災地に対し、救援金152,560円を日本赤十字社中央区支部に寄託	●復興庁が発足
1月27日	●新年懇親会に、発注者及びリーダー・サブリーダーの出席を得る	
31日	●「お客様満足度調査・会員調査報告書」を刊行	
3月	●年間契約金額2億円突破	
平成24年度 2012	4月 ●就業専門員3名→4名 ●理事会交流サロンを実施し、議題以外の意見交換	●東京スカイツリー開業 ●自民党が大勝、民主党は大敗する ●山中伸弥がiPS細胞でノーベル生理学・医学賞を受賞
5月30日	●東日本大震災義援金(H23.11月～H24.5月) 28,012円を送金	
6月	●「第2次中央区シルバー人材センター中期計画」の策定	
6月	●月末正会員600人を達成	
6月	●区発行「高齢者福祉事業のしおり」に広告を掲載	
8月	●参加者の増加により、会員交流広場を作業準備室から京華スクエアコミュニティルームに変更	
10月30日	●新聞折り込み広告を実施	
11月1日	●自転車安全講習会の実施	
11月	●地域班会議を実施、活発な意見交換	
11月	●中央区高齢者クラブ連合会会報「やまびこ」に広告掲載	
12月	●センター特注カレンダーの作成・配布	
12月	●団体自転車総合保険の案内	
1月	●接遇研修の実施 参加者432名 (合同会社アンラーニング 中道まり氏)	
2月	●作業別安全基準を制定・改正	
2月	●安全支援員要綱を制定	
2月8日	●東日本大震災義援金(H24.6月～H25.2月) 21,587円を送金	
2月24日	●東京マラソンボランティアに統一ウェアで参加	
3月31日	●配分金が2億円を突破(1億円突破は平成8年度末)	
3月	●受託件数(月累計)が2,200件を超える	
平成25年度 2013	4月 ●業務システムを「エイジレス80」から「theしるばー」に一新し業務の充実化	●公職選挙法の改正で、インターネット選挙運動が解禁となる
4月	●機関紙「シルバーのあゆみ」年3回から4回に、さらにカラー化を図り情報発信を活性化	●『和食 日本人の伝統的な食文化』がユネスコ無形文化遺産に登録
4月	●毛筆教室に写経コースを新設	●2月に記録的な大雪。関東甲信地方を中心に大きな被害が出た
4月	●パソコン講習室のパソコン及びプロジェクターの更新	●日本一の高さを誇る超高層ビル「あべのハルカス」開業
5月24日	●シルバーのあゆみをカラーに変更	●宇宙飛行士の若田光一が日本人初の国際宇宙ステーションの船長に就任
11月12日	●自転車安全講習、振込め詐欺、ひったくり注意講習の実施	
12月	●満足度調査の実施(区立施設利用者)	
12月25日	●東日本大震災義援金(H25.3月～H26.12月) 99,923円を送金	
1月～2月	●全会員対象の仕事種別接遇マナー研修 ●接遇研修の実施 参加者456名 (合同会社アンラーニング 中道まり氏)	
3月	●年間契約件数が580件を超える	
平成26年度 2014	4月1日 ●会員着用エプロンモデルチェンジ ●センターメールアドレス変更 (新アドレス: sjc_0@chuo-sc.or.jp) ●独自事業の毛筆写経教室に「レベルアップコース」を新設 ●一部児童館の運営が区から指定管理者に移管 (新川児童館 →(株)ポピンス)	●消費税が5%から8%に ●ノーベル物理学賞受賞者に赤崎勇・天野浩・中村修二の3人が受賞 ●富岡製糸場と絹産業遺産群が世界遺産に登録

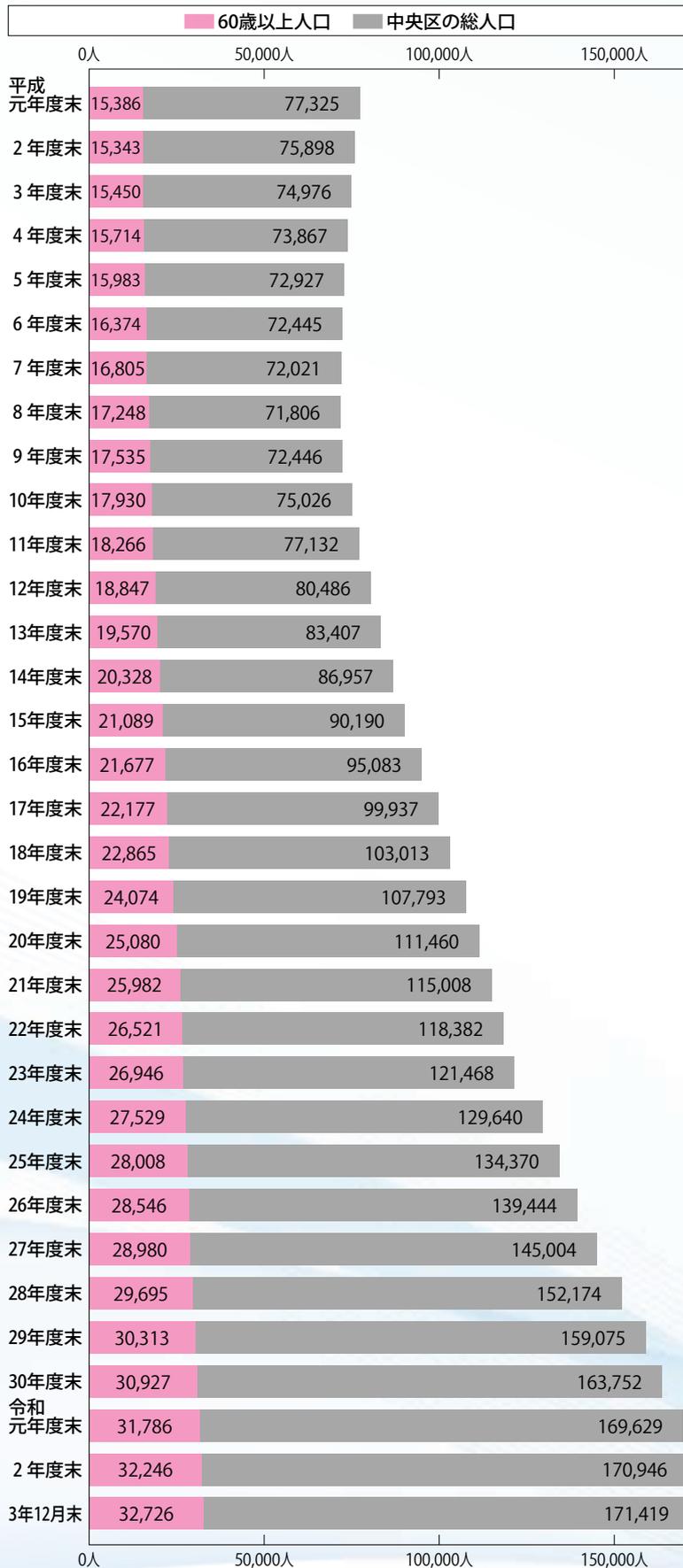


年月日	主な出来ごと	国内の動き	
6月6日	● 会員向け「au楽しいシニア向けスマートフォン教室」開催 (東京しごと財団・港区SJC・KDDIによる試験実施)		
9日	● 業務用車両1台をハイブリッドタイプに更新		
24日	● 東京都公益認定等審議会による立ち入り検査実施		
8月29日	● センター新PRとして区内郵便局窓口ATMにPR広告印刷入り現金用封筒を配置		
9月19日	● パソコン講師就業会員向け「スマートフォン教室」開催 (docomoによる)		
10月31日	● 会員数が600人突破 ● AED講習会の新規実施		
11月	● 「就業の適正化・公平化に関する仕組みについて」一部見直しを行う(導入効果の検証結果を踏まえ、経過措置の内容を改め就業年限を最長5年とした)		
12月	● 包丁研ぎ事業開始		
11月～12月	● 接遇研修 参加者479名 (渡辺久美子氏、Office W-Being 響城れい氏)		
2月	● 「お客様満足度調査・会員意識調査報告書」を刊行		
平成27年度 2015	4月1日	● 一部児童館の運営が区から指定管理者に移管 ● 佃児童館 → (株)ポピンズ ● 勝どき児童館 → (株)グローバルキッズ ● 堀留町児童館 → (株)サクセスアカデミー(現:ライクアカデミー(株)) ● 区営駐車場の有料化に伴い、地下駐輪場の運営が区から指定管理者に移管 → サイカパーキング(株) ● 独自事業のパソコン教室 ● 経験者向け「ステップアップエクセル」講座を新設 ● 受講者へのフォローアップとして「開放タイム」(パソコン研修室の自習利用日) 新設 ● 職員、就業専門員への携帯電話配置完了	● 大村智がノーベル生理学・医学賞を受賞、梶田隆章がノーベル物理学賞を受賞 ● 明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業が世界遺産に登録
	7月28日	● 機関紙「シルバーのあゆみ」第100号記念の増ページ特集号を発行	
	11月～12月	● 接遇研修 参加者485名 (渡辺久美子氏) 開催時期を秋に変更	
	12月	● 就業申込書へ介護サービスの有無確認欄を追加	
	1月	● センター新PRとして年賀状広告「年賀タウン」を実施 (入船1～3、日本橋箱崎町、佃1～3の3地域へ7,000枚を配付)	
	3月30日	● 東日本大震災寄付金(H27.1月～H28.3月) 85,312円を送金	
平成28年度 2016	4月1日	● 東京しごと財団「人材情報バンク」運用開始 ● 介護予防・日常生活支援事業の受託開始	● 熊本地震発生
	14日	● テレビ広報放映開始	● オートファジーの仕組みの解明で、大隈良典がノーベル生理学・医学賞を受賞
	6月～17日	● 江戸バス時刻表広告掲載開始 ● 35周年記念表彰の実施 (発注者表彰、役員表彰、会員20年表彰、10年表彰、財団表彰) (35周年記念品としてデジタル時計を配布)	● 北海道新幹線が開業 ● 位置情報ゲーム「ポケモンGO」がヒット
	7月20日	● 熊本地震災義援金30,622円を送金	● 国立西洋美術館が世界遺産に登録
	10月3日	● 発注者及び会員へ「適正就業ガイドライン」の配布を開始	
	11月～12月	● 接遇研修実施 参加者512名 (合同会社アップグロース 宮澤知繁氏)	
	12月21日	● 東日本大震災寄付金(H28.4月～12月) 50,984円を送金	
	3月30日	● 東日本大震災寄付金(H29.1月～3月) 10,694円を送金	

	年月日	主な出来ごと	国内の動き
平成29年度 2017	4月1日	<ul style="list-style-type: none"> ●派遣事業所設置 ●第3次中期計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ●「神宿の島」宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界遺産に登録
	5月8日	<ul style="list-style-type: none"> ●第4代会長 小林高光氏 他界 	
	6月23日	<ul style="list-style-type: none"> ●第5代会長 山内栄一郎氏 就任 	
	11月～12月	<ul style="list-style-type: none"> ●接遇研修実施 参加者510名 (株式会社スリーマインド 浅井令子氏) 	
	??	<ul style="list-style-type: none"> ●センターオリジナルカレンダー デザインモデルチェンジ 	
平成30年度 2018	4月1日	<ul style="list-style-type: none"> ●センター業務システムを「エイジレス80」に更新 センターメールアドレス変更 (新アドレス: chuo@sjc.ne.jp) 	<ul style="list-style-type: none"> ●埼玉県熊谷市で気象観測史上最高気温となる41.1度を記録 ●築地市場が83年の歴史に幕。豊洲市場が開場する ●北海道の胆振地方中東部で地震発生 ●本庶佑がノーベル生理学・医学賞を受賞 ●長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産が世界遺産に登録
	1月25日	<ul style="list-style-type: none"> ●化粧講座実施 参加者26名 (花王株式会社 ソフィーナ事業部 啓発グループ) 	
	3月1日	<ul style="list-style-type: none"> ●労働者派遣受託開始 	
令和元年度 2019	4月1日	<ul style="list-style-type: none"> ●高速印刷機を導入 	<ul style="list-style-type: none"> ●第125代天皇が退位(譲位) ●皇太子徳仁親王が天皇に即位 ●フェーン現象により記録的な猛暑 ●消費税が8%から10%に ●沖縄県那覇市の首里城で火災が発生 ●吉野彰がノーベル化学賞を受賞 ●百舌鳥・古市古墳群が世界遺産に登録
	10月27日	<ul style="list-style-type: none"> ●中央区健康福祉まつりに参加 	
	12月24日	<ul style="list-style-type: none"> ●研修室パソコン、プリンタを更新 化粧講座実施 参加者21名 (花王株式会社 ソフィーナ 美容PR推進グループ) 	
	2月2日	<ul style="list-style-type: none"> ●「これからシルバー応援フェスタ」に参加 	
令和2年度 2020	4月1日	<ul style="list-style-type: none"> ●ホームページの全面リニューアルによるPR強化と情報開示の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大する ●新型コロナウイルスにより東京オリンピック・パラリンピックの1年延期が決定される ●新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が各地域で断続的に発令される ●スーパーコンピューター・富岳が計算速度世界一を獲得 ●レジ袋の有料化 ●医療者への新型コロナウイルスワクチン接種始まる
	5月1日	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染拡大防止のため家事援助等一部受注を1月間停止 	
	10月30日	<ul style="list-style-type: none"> ●「これからシルバー応援フェスタ」に参加 	
	2月	<ul style="list-style-type: none"> ●お客様満足度調査・会員意識調査報告書公開 	
令和3年度 2021	4月1日	<ul style="list-style-type: none"> ●機関紙「シルバーのあゆみ」のデザインを一新 (縦書き⇒横書き) 	<ul style="list-style-type: none"> ●熱海で大規模な土石流 ●緊急事態宣言が拡大(19都道府県) ●将棋の藤井聡太、最年少四冠
	6月25日	<ul style="list-style-type: none"> ●創立40周年記念 会員表彰を実施 	
	28日	<ul style="list-style-type: none"> ●業務システムによるショートメッセージ送信を開始 	

活動の推移

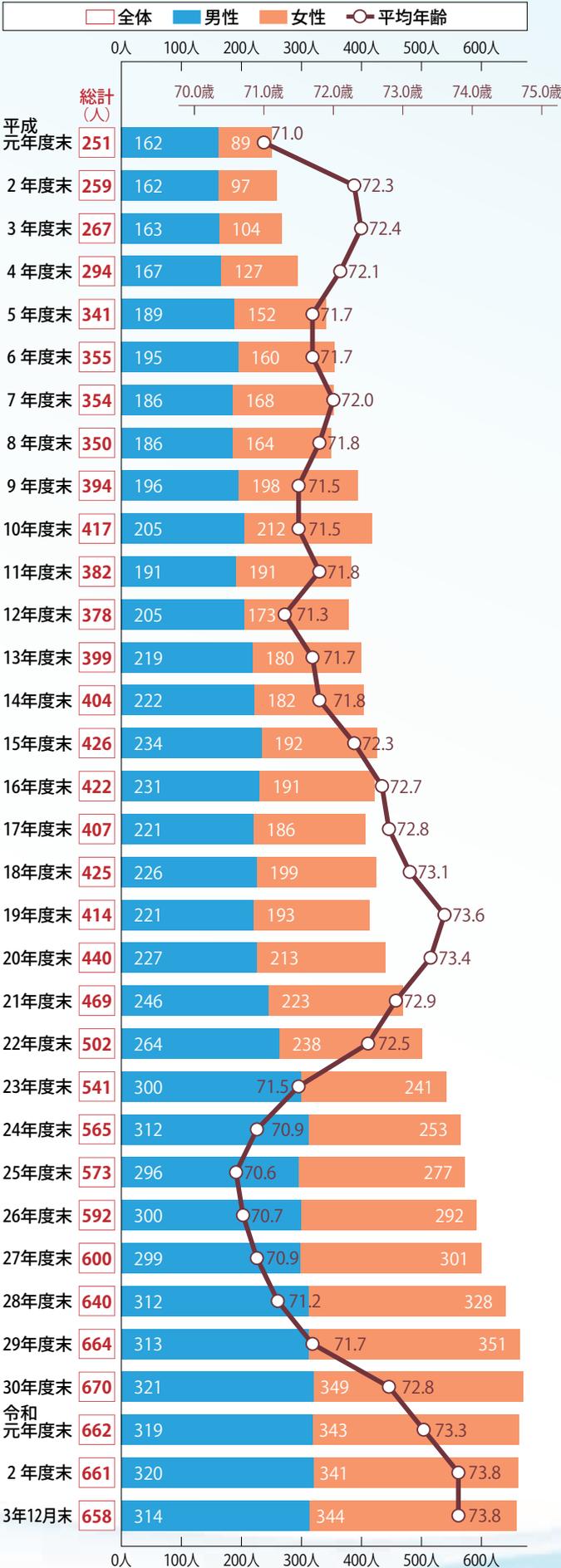
● 中央区の総人口・60歳以上人口



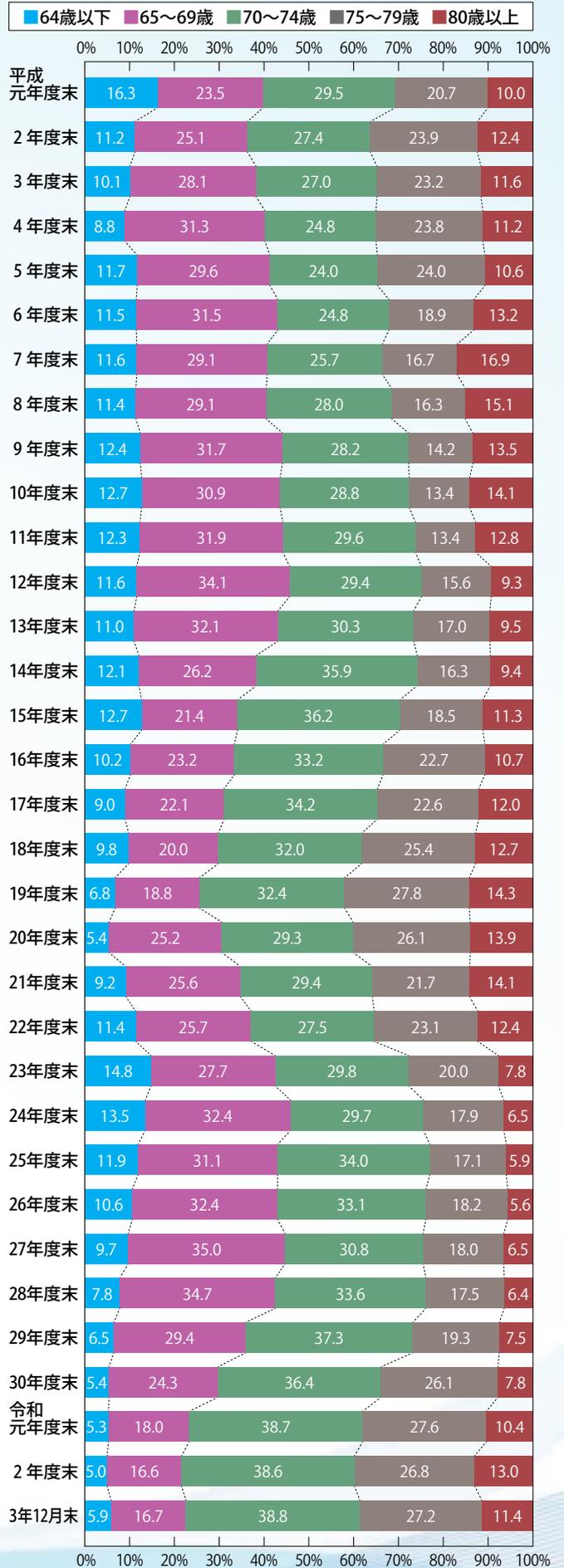
● 会員数・加入率



● 会員の性別・平均年齢



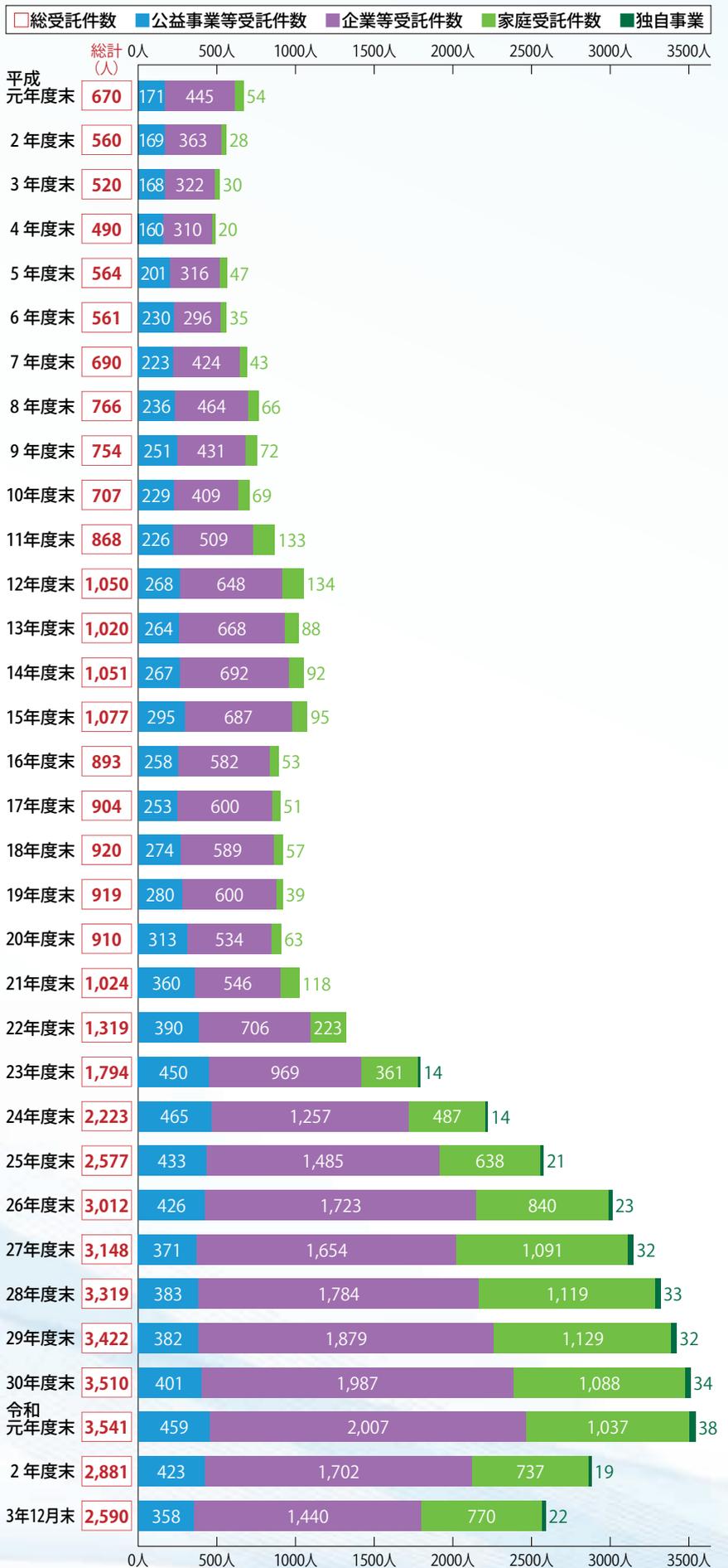
● 会員の年齢層比率



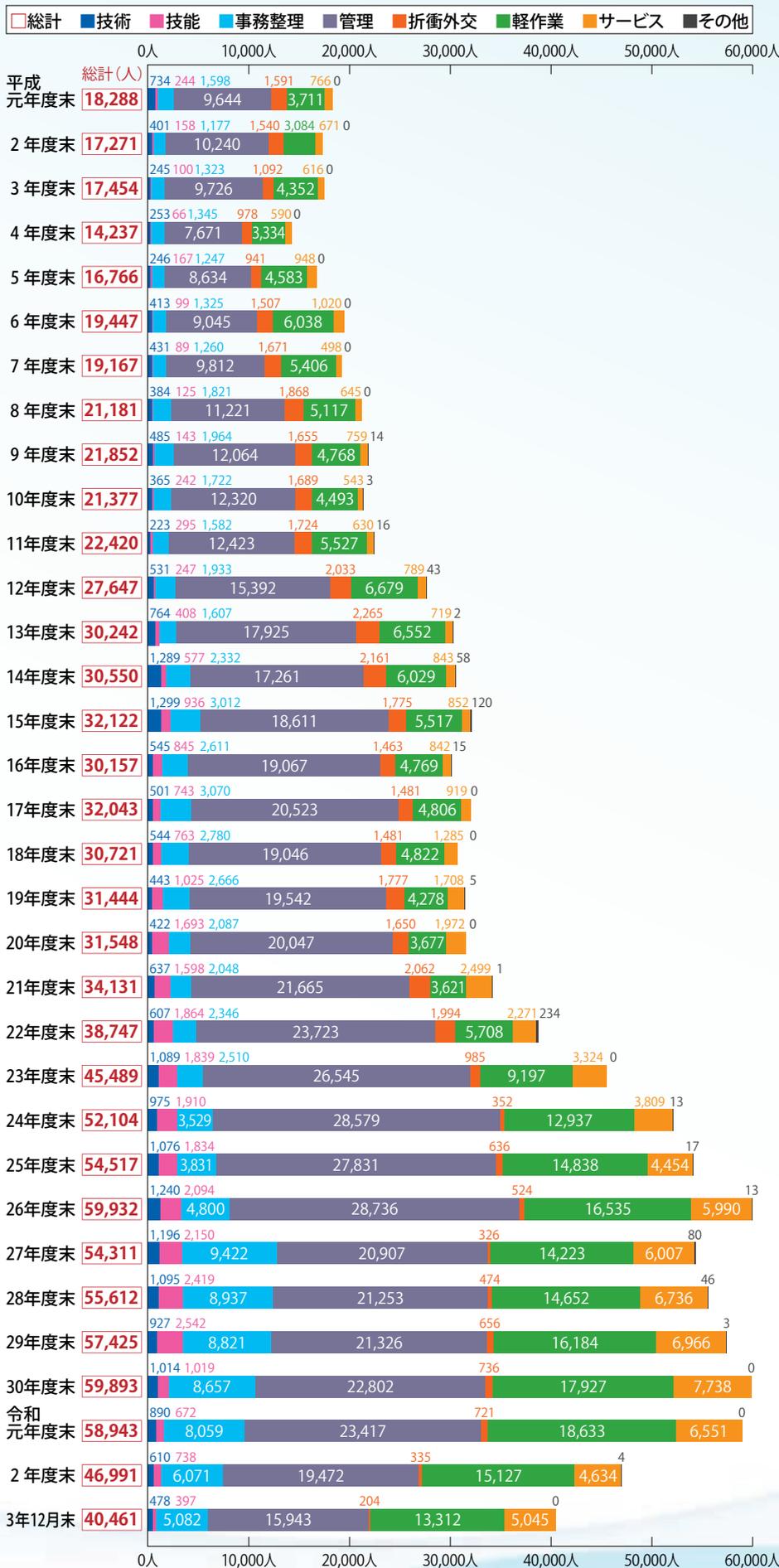
● 就業会員数・就業率



● 公共・企業等・家庭別受託件数



●職群別就業実績（延日人数）



●配分金・契約金



歴代役員

● 会長

会 長	昭 和								平 成												
	56年 1981	57年 1982	58年 1983	59年 1984	60年 1985	61年 1986	62年 1987	63年 1988	元年 1989	2年 1990	3年 1991	4年 1992	5年 1993	6年 1994	7年 1995	8年 1996	9年 1997	10年 1998	11年 1999	12年 2000	
廉 英雄	■																				
渡辺誠之助											■										
平林 智司																					
小林 高光																					
山内栄一郎																					

● 副会長

副 会 長	昭 和								平 成												
	56年 1981	57年 1982	58年 1983	59年 1984	60年 1985	61年 1986	62年 1987	63年 1988	元年 1989	2年 1990	3年 1991	4年 1992	5年 1993	6年 1994	7年 1995	8年 1996	9年 1997	10年 1998	11年 1999	12年 2000	
岩淵 直	■																				
小松 徳美	■																				
滝沢 幸泰				■																	
吉岡 英一									■												
町田 実																			■		
木嶋 寛治																			■		
酒井 政代																				■	
平岩 平一																					
山口 正子																					
佐藤 鶴代																					
市村 恒雄																					
神戸 京子																					
萬光 範一																					

● 常務理事（事務局長兼務）

常務理事 (事務局長兼務)	昭 和								平 成												
	56年 1981	57年 1982	58年 1983	59年 1984	60年 1985	61年 1986	62年 1987	63年 1988	元年 1989	2年 1990	3年 1991	4年 1992	5年 1993	6年 1994	7年 1995	8年 1996	9年 1997	10年 1998	11年 1999	12年 2000	
高橋 一	■																				
高柳 和良						■															
平林 正隆									■												
荒川 武男																			■		
近藤 正敏																			■		
鈴木 正昭																					

常務理事 (事務局長兼務)	昭 和								平 成											
	56年 1981	57年 1982	58年 1983	59年 1984	60年 1985	61年 1986	62年 1987	63年 1988	元年 1989	2年 1990	3年 1991	4年 1992	5年 1993	6年 1994	7年 1995	8年 1996	9年 1997	10年 1998	11年 1999	12年 2000
佐藤マツ子																				
中島 佳久																				
坂田 直昭																				
遠藤 龍雄																				

●理事

理 事	昭 和								平 成																			
	56年 1981	57年 1982	58年 1983	59年 1984	60年 1985	61年 1986	62年 1987	63年 1988	元年 1989	2年 1990	3年 1991	4年 1992	5年 1993	6年 1994	7年 1995	8年 1996	9年 1997	10年 1998	11年 1999	12年 2000								
池宮 勝治	■																											
井原 悦子	■								■																			
小笠原アイ	■								■																			
加藤徹一郎	■								■																			
古場 常雄	■								■																			
坂本 一郎	■								■																			
島田 文子	■								■																			
滝沢 幸泰	■																											
山内 忠尚	■								■																			
吉岡 英一	■								■																			
須中甲一郎	■																											
高柳 和良		■																										
山崎 光三			■						■																			
山口 悦夫				■				■																				
長谷川光蔵								■																				
酒井 政代										■					■													
戸島 勉										■																		
町田 実										■																		
三木 ミツ										■																		
坂内直剛大										■																		
古海 征雄											■																	
水上 太郎												■																
三ツ井美蓉												■																
倉田 力雄												■																

理事	昭和									平成											
	56年 1981	57年 1982	58年 1983	59年 1984	60年 1985	61年 1986	62年 1987	63年 1988	元年 1989	2年 1990	3年 1991	4年 1992	5年 1993	6年 1994	7年 1995	8年 1996	9年 1997	10年 1998	11年 1999	12年 2000	
鷺尾 忠士																					
吉野 秀雄																					
佐野 辰雄																					
小森 保男																					
木嶋 寛治																					
矢口 千代																					
木村 臣																					
宮崎 和則																					
木村卯三郎																					
平岩 平一																					
山中喜八郎																					
山口 正子																					
平野 純一																					
堀田 清子																					
佐藤 鶴代																					
戸田 昭																					
前田 昭子																					
山中 弘子																					
竹中 秀男																					
市村 恒雄																					
筑間 興一																					
大澤 久子																					
高橋 邦夫																					
神戸 京子																					
林 道彦																					
小泉 典久																					
根本 静子																					
飯田 良子																					
山崎 栄三																					
竹内 利雄																					
濱端 泰子																					
三澤 淑子																					

理 事	昭 和									平 成											
	56年 1981	57年 1982	58年 1983	59年 1984	60年 1985	61年 1986	62年 1987	63年 1988	元年 1989	2年 1990	3年 1991	4年 1992	5年 1993	6年 1994	7年 1995	8年 1996	9年 1997	10年 1998	11年 1999	12年 2000	
島田 勝敏																					
古橋 精二																					
山上 文徳																					
小倉 草																					
河邊 悠一																					
萬光 範一																					
辻 富士子																					
竹口 寛																					
橋谷 正雪																					
長嶋 育夫																					
芳村 義朗																					
岩瀬 光智																					
古田島幹雄																					
有川 諄子																					
内藤 勝代																					
吉田 和子																					
安達 正治																					

● 監事

監 事	昭 和									平 成											
	56年 1981	57年 1982	58年 1983	59年 1984	60年 1985	61年 1986	62年 1987	63年 1988	元年 1989	2年 1990	3年 1991	4年 1992	5年 1993	6年 1994	7年 1995	8年 1996	9年 1997	10年 1998	11年 1999	12年 2000	
川村清之助																					
村山 精知																					
三ツ井幸四郎																					
茂木 賢三																					
仲 宏一																					
大井川相司																					
桜井 篤																					
竹ヶ原善一																					
山岸 義夫																					
高木 暁子																					
渡辺 清																					

組織図



監事

- 財産の状況監査
- 理事の業務状況監査

事務局

事務局長
(常務理事兼務)

職員

就業専門員



総務委員会



広報委員会



安全管理委員会



就業適性委員会



役員及び職員

役員



山内 栄一郎 会長



萬光 範一 副会長



遠藤 龍雄 常務理事



辻 富士子 理事



橋谷 正雪 理事



芳村 義朗 理事



有川 諄子 理事



内藤 勝代 理事



安達 正治 理事



吉田 和子 理事



高木 暁子 監事



渡辺 清 監事

職員



遠藤 龍雄 常務理事兼事務局長



佐野 勝彦



木場 美穂



富樫 真人



佐々木 禎雄



山口 麻衣子



福島 尚晃



新 航希



木坂 美沙子(就業専門員)



田嶋 隆俊(就業専門員)



堀 学(就業専門員)



石井 洋子(就業専門員)

あ と が き

創立40周年を記念し、本来であれば、来賓の方々をお招きし、式典を挙げる予定でありましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、実施を取り止めることといたしました。まことに残念でなりません。

そのため、記念誌の作成にあたり、～会員と地域の未来のために～と題した「記念座談会」を開催し、「就業を通して得られたこと」や「今後のセンターへの期待」について、会員の皆さんから貴重なお話をいただきました。また、記念誌には、会員の就業やボランティア活動、サークル活動の様子のほか、地域の皆さまと歩んできたシルバー人材センターの40年のあゆみや活動の推移について、写真や年表等でお示ししております。今後のセンターの運営はもとより、さらなる発展のために活用されることを願っております。

センターをとりまく環境は大きく変化しておりますが、これからも、「自主・自立」「共働・共助」の理念のもと、地域の高年齢者に就業する機会を提供することを通じて、地域社会に貢献してまいりたいと存じます。

結びに、当センターの運営にご理解とご協力をいただいている、発注者様や地域の皆さまに感謝いたしますとともに、引き続きセンターへのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、本誌発行にあたり、ご祝辞をいただいた、中央区長様をはじめ、中央区議会議長様、東京しごと財団理事長様、並びに座談会への出席者の皆さま、メッセージを寄稿していただいた皆さまに心よりお礼申し上げます。

創立40周年記念誌 40年のあゆみ

令和4年3月発行

発行人 公益社団法人 中央区シルバー人材センター
〒104-0032 東京都中央区八丁堀3丁目17番9号
京華スクエア1階
電話 03-3551-2700
編集者 株式会社コモン計画研究所

公益社団法人 中央区シルバー人材センター